

注：環境・利用部会 利用検討班のみ使用予定

# 舟 運

## 兵庫県南部地震の教訓 (交通・運輸関係)

医療救護、救急救助、物資輸送、代替輸送、避難手段及び緊急輸送路の確保等が大きな課題となった。



# 地震等総合的防災対策

緊急時水上輸送イメージ



3

# 緊急用船着場の整備・維持及び航路の確保

・船着場整備

船着場位置図



船着場イメージ(自然の水辺を保全)



(海老江船着場)

整備済(●) 7箇所  
整備中(●) 2箇所

4

## 淀川舟運に関する沿川地域の動き

### 沿川地域の活動状況

淀川舟運整備推進協議会発足 H12.11~  
 (枚方市、寝屋川市、大阪市、守口市、  
 摂津市、高槻市、島本町、京都市、  
 宇治市、八幡市9市1町で構成  
 \*参与 大阪府、京都府)

NP0団体の活動も2003年  
 第3回世界水フォーラムに向けて活発化  
 ・シンポジウム・淀川舟運体験  
 ・道頓堀で泳ごう など



淀川舟運復活への期待

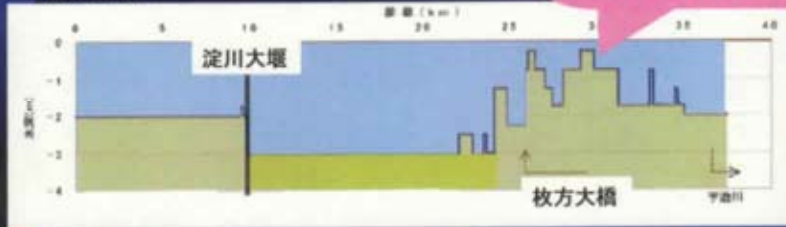


## 淀川大堰閘門設置の検討



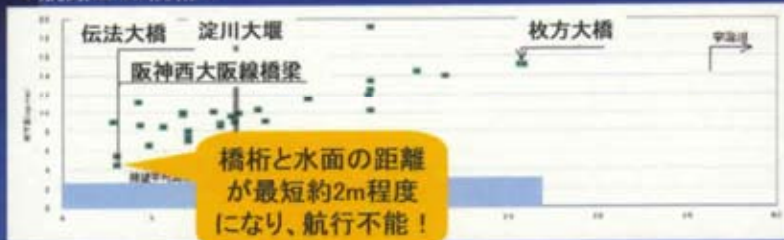
## 航路水深及び橋桁の現状

《航路水深》



枚方より上流において水深が1m以下の地点があり、航行不能！

《航路上の橋桁》

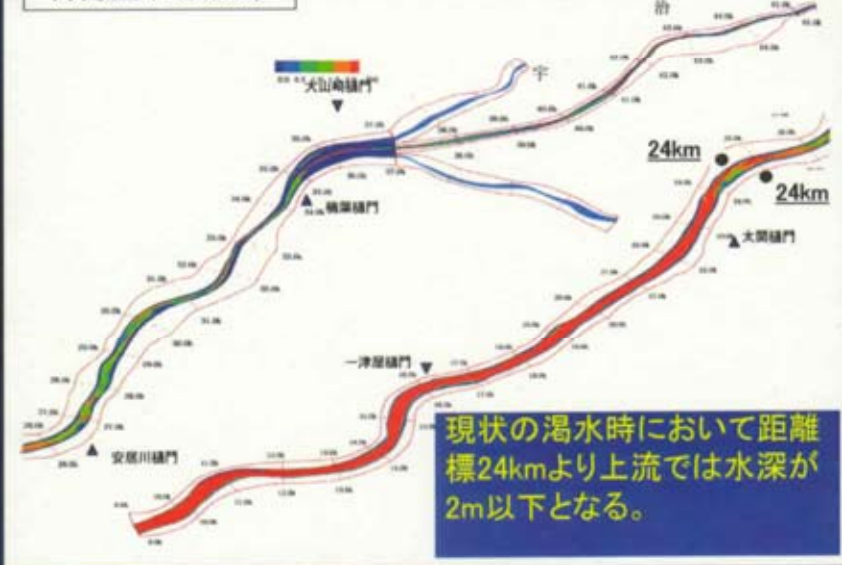


橋桁と水面の距離が最短約2m程度になり、航行不能！

7

## 淀川の水深の現状

湧水流量時の水深分布



現状の湧水時において距離標24kmより上流では水深が2m以下となる。

8

## 淀川大堰閘門検討委員会

### 【委員構成】

委員長：中川 博次 立命館大学工学部教授・京都大学名誉教授  
 委員：井上 結一 京都大学大学院教授  
 阿部 功 大阪薬科大学薬学部助教授  
 角 哲也 京都大学大学院助教授  
 岩井 珠恵 関西クリエイティブフォーラム代表取締役  
 国土交通省近畿地方整備局 河川部河川調査官  
 国土交通省近畿地方整備局 道路部機械課長  
 国土交通省近畿地方整備局 淀川工事事務所長

### 【目的】

震災時等に水上からの緊急時輸送の航路を確保するため、淀川の上下流を分断している淀川大堰を船で行き来できる閘門施設について基本設計条件を検討するものである。

### 【開催経緯】

第1回：平成12年 8月21日  
 公聴会：平成12年10月27日  
 第2回：平成13年 1月31日  
 第3回：平成13年 3月22日  
 第4回：平成14年 3月28日

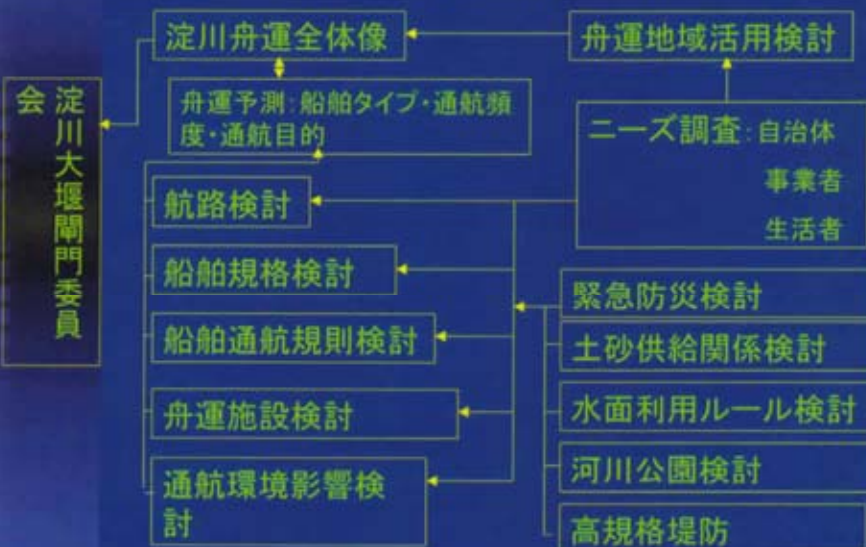


9

## 淀川舟運研究会

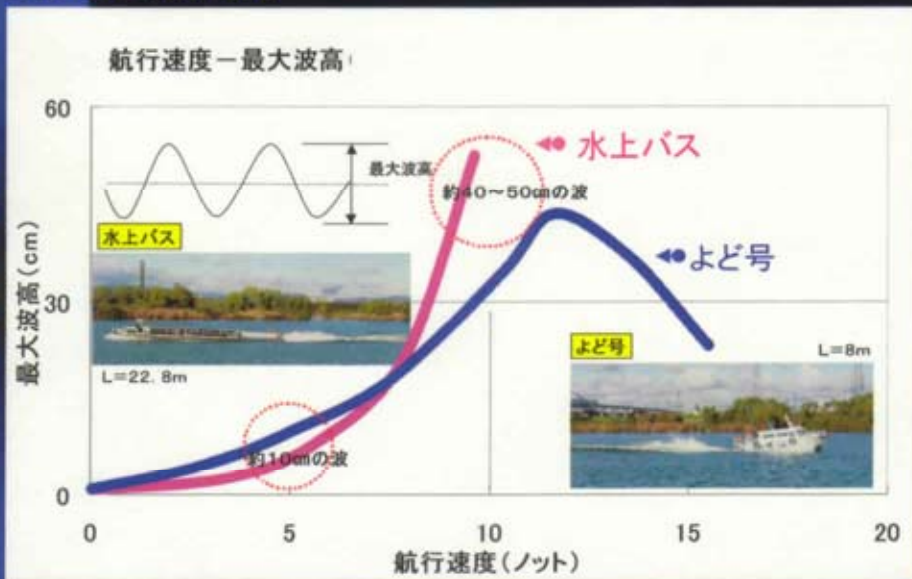
淀川舟運研究会を近畿地方整備局淀川工事事務所内に設置し、所内研究会として発足(H12.9～)

座長：阿部功(大阪薬科大学助教授) 参加者：淀川工事事務所職員を横断的に編成



10

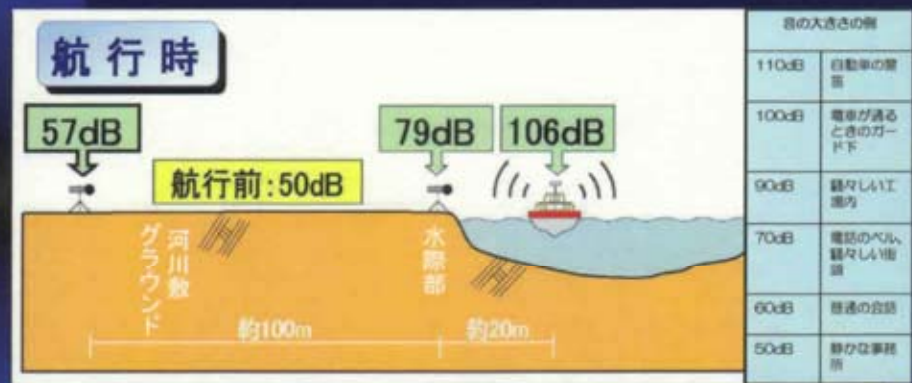
## 航走波実験結果



11

## ②航走音—船舶の音による影響調査

鳥飼大橋上流



最大騒音レベルは、よど号が水際寄りを最大速度で航行した時で、船上で106dB、水際部で79dB、河川敷グラウンド内(居住区側)で57dBであった。

なお、この時間の風向・風速は、北の風、3.2m/sであった。

12

## 模型実験写真

33k付近の状況



13

## 枚方より三川合流点までの航路確保の検討 ・「ワンド」復元のイメージ



水制エイメージ

14

## カヌー(日本カヌー普及協会からの提案)



## カヌー(日本カヌー普及協会からの提案)

